

令和2年3月31日  
【農林水産省】

## 【概要書】

### 食料・農業・農村基本計画

標記の報告書を衆議院議長に提出いたしました。

連絡先は省略。

# 食料・農業・農村基本計画

## 基本計画のポイント

### 1. 国内外の新たな需要を踏まえた生産基盤の強化

- ① 新たな輸出目標（5兆円：2030年）を設定  
司令塔組織の下で更なる輸出促進
- ② 肉用牛・酪農の増頭・増産、水田での高収益作物への転換
- ③ スマート農業の加速化、農業のデジタルトランスフォーメーション（農業DX）
- ④ CSF(豚熱)・ASF(アフリカ豚熱)等の動植物防疫措置の強化

### 3. 農村政策の総合的な推進

- ① 農泊、ジビエ、農福連携による所得と雇用機会の確保
- ② 中山間地域等直接支払等による多面的機能の発揮と定住条件の整備
- ③ 棚田法の活用や関係人口の拡大・関係の深化
- ④ 関係府省が連携した総合的な農村政策

### 2. 人材の育成・確保と農地の集積・集約化

- ① 人材育成・確保と経営継承、中小・家族経営など多様な経営体の生産基盤強化を通じた農業経営の底上げ
- ② 農地中間管理機構を通じた農地の集積・集約化  
人・農地プランの実質化
- ③ ドローン等を活用した農業支援サービスの定着
- ④ 収入保険の加入促進など実効性あるセーフティネットの構築

### 4. 食と農に関する新たな国民運動の展開を通じた国民的合意の形成

- ① 食育や地産地消、国産農産物の消費拡大に向けた国民運動の展開
- ② 農業・農村の重要性への理解の醸成

新たな輸出目標（5兆円）も踏まえ、食料自給率目標を設定

新たな食料自給率目標	（カロリーベース）	37%（2018）	→	45%（2030）
	（生産額ベース）	66%（2018）	→	75%（2030）